

わたらの健康とくすり

第204号

Q. 薬を飲む際に知っておくことはなんですか？

A. 病気を治すために処方された薬は、その用法・用量を守って、正しく使用することが治療の近道です。薬を正しく使用するためには、自分が使っている薬をしっかり理解することが大切です。

では、具体的にどのようなことを知っておく必要があるのでしょうか。

1つ目は「薬の名前」です。薬の名前には、製薬会社が個別につけた商品名と、含まれている成分の名前である成分名(一般名)があります。同じような病気の治療でも個人によって用いる薬は違いますので、自分自身が飲む薬の名前を知っておくことが大切です。

2つ目は「薬の飲み方」です。薬は、定められた量より多く飲んだからといって、よく効くものではありません。逆に多く飲みすぎることによって副作用が現れることがあります。定められた用法・用量をしっかり守りましょう。

3つ目は「薬の作用」です。薬が体の中でどんな働きをするのか、どのような効果があるのか、ということを知っておくことです。

4つ目は「薬の副作用」です。薬は、体にとって有益な作用がある反面、まれに有害な作用が現れることもあります。起こり得る副作用、早い時期に発見するために気を付けることなど、事前に医師または薬剤師に聞いておくことが大切です。

5つ目は「薬の飲み合わせ」です。一緒に飲んではいけない薬や、できるだけ避けた方がよい食品は何かということを知っておきましょう。薬の中には、他の薬や食品と一緒に服用すると、薬の作用が強くなったり、逆に弱くなったり、時には予期しない作用が起こることがありますので、正しい知識を持っておくことが大切です。

6つ目は「日常生活の注意点」です。薬によっては、「服用後の車の運転は避けてください」「日光にできるだけ当たらないようにしてください」「砕いて服用しないでください」などの注意点があります。また、「食事を摂らなかつた時や、薬を飲み忘れた場合はどうすればよいか」ということなども、併せて知っておきましょう。

★★お薬手帳を活用しましょう★★

毎日飲んでいる薬でも、薬の名前は覚えにくいものです。そんな時に役立つのが「お薬手帳」です。お薬手帳とは、現在使用している薬または過去に使った薬の名前や飲み方、過去の病歴やアレルギー歴、副作用歴などを記録しておくための手帳です。薬の記録を付けておくと、医師や薬剤師などに情報を正確に伝えることができ、治療上の安全性が高まります。また、薬の重複や飲み合わせの確認にも役立ちます。是非ご活用をお願いします。

執筆薬剤師 阿部 芳世



今月の内容

- がん細胞の性質に応じた乳がん治療について
- 体を温める食べ物
- 自分の薬を知りましょう



コウキセッコク (ラン科)

温室で育てるいわゆる洋ランの一種ですが、原産地はインド、中国南部、東南アジアです。木に着生して生活をしています。名前のコウキは高貴の意味で、そのノブナ姿に由来します。中国では茎を生薬にして、体内の熱を去り、胃痛やのどの渇き、足腰の軟弱などに応用します。日本にはセッコクが自生しており、5~6月に高尾山のスギの木を見上げると白い花が見られます。

写真・文 指田 豊

2013年1月発行

発行者 八王子薬剤センター 茂木 徹

東京都八王子市館町 1097 電話 042-666-0931

協力 八王子薬剤師会

